

ウインターカップ2022

令和4年度 第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会 岡山県予選会

日時	2022年11月6日	10:00	女子	決勝
会場名	笠岡総合体育館			Mコート 第I試合

○ 倉敷翠松	89	$\left\{ \begin{array}{l} 29 - 8 \\ 15 - 18 \\ 19 - 15 \\ 26 - 18 \end{array} \right\}$	59	作陽	●
--------	----	---	----	----	---

審判名	クルーチーフ	岸本 祥也					1stアンパイア	中村 達哉			2ndアンパイア		阿賀 文郁	
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	
野瀬 紗奈 (C) *	4	13		6	1	4	北村 新菜 *	2	6		2	2	1	
丸山 優香	5	2		1			小島 萌	3	0				2	
土家 梨愛 *	6	16		7	2	3	杉本 くるみ	5	-					
伏見 朋香 *	7	9	1	3			森 詩菜	6	2		1		5	
清水 咲菜 *	8	0					堀尾 芽衣 (C) *	7	5	1	1		1	
鳥尾 七彩	9	6		2	2	1	畑田 玲奈 *	8	9	3				
平尾 乃々子	10	0					柴田 姫那 *	9	12	2	3		1	
村田 ひな	11	0					小椋 聖彩	10	-					
原田 涼風	12	0					岸本 莉奈	11	-					
杉原 莓音	13	0					柴田 理奈	12	-					
窪敷 理紗	14	4	1		1	2	山本 歩実	14	-					
アイビトウ グレイス*	15	37	1	15	4	3	太田 みや *	15	16		6	4	2	
横路 由奈	16	0					江國 由夢	16	6		2	2	5	
廣川 絢音	17	2			2		竹内 わかな	18	-					
鈴木 柑菜	18	0					岡西 悠羽	20	3	1			2	
合計		89	3	34	12	13	合計		59	7	15	8	19	

戦評

1Q 翠松⑮の高さに対して作陽は1-2-2のゾーンディフェンスで中を固め、対する翠松は1-2-1-1のゾーンプレスで互いにディフェンスで仕掛ける。翠松④の先制点から開始2分、作陽はマンツーマンディフェンスと2-2-1のゾーンディフェンスを使いわけが、開始6分、作陽のチームファウルが重なりフリースローが翠松に与えられる。残り2分、翠松⑮が⑰と交代し、作陽⑥がオフェンスリバウンドやスティールを繰り返したが、翠松は24秒間守り切るディフェンスを繰り返すなど、作陽に対して終始主導権を奪い、翠松29-8作陽で1Qを終える。2Q、開始早々に作陽が⑳と㉑の3Pで翠松29-14作陽と点差を縮める。ディフェンスでもプレッシャーを強める作陽に対し、翠松は⑰のドライブから⑮への合わせなどで得点するが、その後は両者とも得点が止まる。流れを変えたい翠松はタイムアウト後ディフェンスをマンツーマンへ変える。翠松は⑮のゴール下、作陽は⑩と⑥の2Pで得点し、翠松36-16作陽。両チームともメンバーチェンジの後、作陽⑨や②がドライブから翠松⑮の高さをかわす技ありのシュートで得点を重ねる一方で、翠松も⑥がミドルやドライブで得点する。終盤、作陽⑮がオフェンスリバウンドをもぎ取り獲得したフリースローを2本とも沈めたが、残り24秒で翠松⑦がドライブから得点し、翠松44-26作陽とし2Qを終える。

3Q 作陽はマンツーマンディフェンス、翠松は2-3のゾーンディフェンスでスタート。翠松は⑮のターンシュートや⑦のミドルシュートで得点を重ねていく。開始5分、作陽は②や⑩を起点にシュートチャンスを作っていく、オールコートディフェンスから相手のミス誘っていく。翠松は相手の激しいディフェンスによりミスが目立ちタイムアウト。タイムアウト明け翠松は⑥のドライブや⑦から⑨への合わせで得点を繋げるなど着実に点を重ねていく。対する作陽は⑮の連続得点で勢いをつけていくが、点差は縮まらず翠松63-41作陽で3Q終了。

4Q 差を詰めたい作陽は⑮が果敢に攻めチャンスを作ると、ディフェンスでもトラップを仕掛けて相手のミス誘うなど、立ち上がりからいいリズムに乗る。一方、翠松は⑮を中心に得点し追い上げを許さない。中盤には翠松のゾーンに対し、作陽⑩からの合わせを⑮や⑨の得点に繋げるなどゾーンをうまく攻略するが、翠松も⑮がファウルをもらいながらも3Pを沈めるビッグプレーで勢いづく。高さのある翠松に対し、最後まで作陽が平面の速さを活かして粘り強いディフェンスを見せるが、大きく差を詰めるには至らず、翠松89-59作陽で翠松が勝利し、3年連続18回目のウインターカップ出場を決めた。

